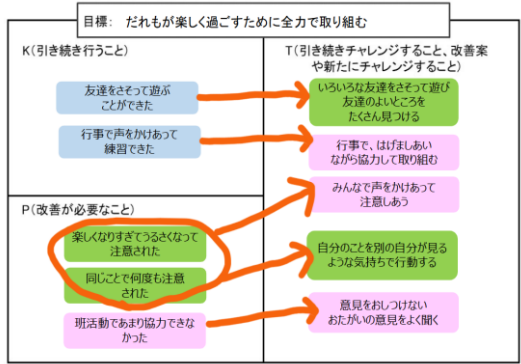


おすすめICT活用事例のご紹介

区分		学年	教科等	単元等	活用アプリ
小中		小3以上	特別活動	1年間を振り返る	プレゼンテーションソフト
授業内容	4月に決めた学級目標についてKPTフレームワークで個人・クラスの1年間を振り返り、来年度の課題と改善案を明確にする				活用ツール 図形・描画
	準備： ・個人用・班活動用ワークシートファイルのスライドに学級目標を入力する。 ・班活動用ワークシート用ファイルのスライドを班の数分コピーし、ファイルを共同編集できる場所に保存する。 ・個人用ワークシート用ファイルのスライドを、課題として子供たちにコピーを配付する。				個人用・班活動用ワークシート
	授業の流れ： 1. 4月に決めた学級目標を再確認する。目標を決めるときに使用した資料があれば、提示して再確認する。 2. （個人用ワークシート）個人で、学級目標に対してこれまで自分がやってきたことを付せんに書き、K（引き続き行うこと）、P（問題なので改善すること）に分類してそれぞれの場所に配置する。Kの内容についてのT（引き続きチャレンジすること）やPの内容についてのT（改善することや新たにチャレンジすること）を付せんに書いて、Tに配置する。KやPの付せんとTの付せんの関連を丸で囲ったり線で示すなど工夫して表す。 3. 班で、個人がワークシートにまとめた内容を見せながら発表する。 4. （班活動用ワークシート）班でクラスの振り返りをして話し合い、班の代表の人が、ワークシートにKとPをまとめる。改善案や他にチャレンジすることを話し合い、意見をまとめてTに付せんに配置する。 5. 全体で班のワークシートを共有し、来年度に向けた改善案やチャレンジすることを確認する。				ワークシートの入力例
ICT利活用のポイント		K（引き続き行うこと）、P（問題なので改善が必要なこと）、T（改善案や新たにチャレンジすること）で整理することで、考えやアイデアを視覚的に整理し、班の意見をまとめたり、全体に共有することが容易になります。			
おすすめポイント		行事・定期考査・部活動などいろいろなシーンやタイミングでの振り返りや課題設定で活用することができます。付せんに学習、日常の行動、友達との関係などテーマに応じて色分けして活用することもできます。			

個人用・班活動用ワークシート

ワークシートの入力例



KPTフレームワークを使ったワークシートの活用例

①これまで行ってきたことを
付せんに書きます

友達をさそって遊ぶ
ことができた

行事で声をかけあって
練習できた

楽しくなりすぎてうるさくなって
注意された

同じことで何度も注意
された

班活動であまり協力できな
かった

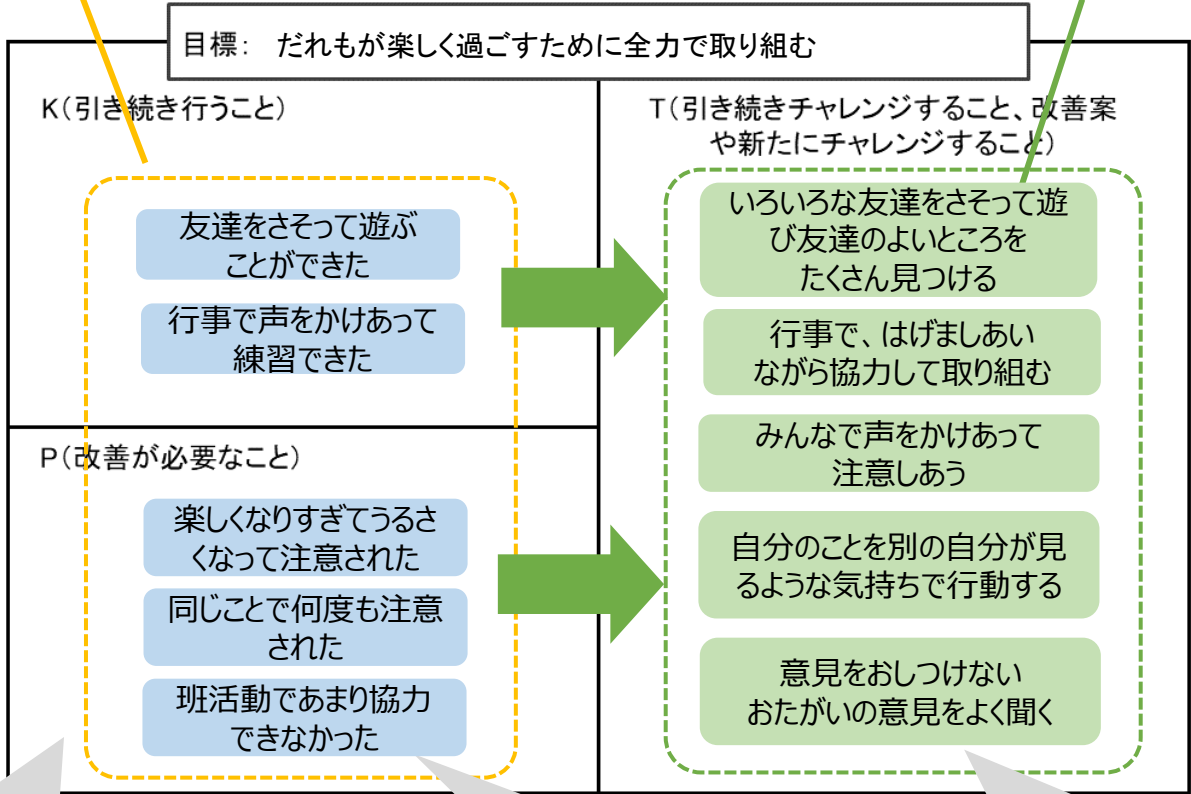
まずは思いつくままに付せんに
書いていきます

②「K：引き続き行うこと」
「P：改善が必要なこと」に**分類します**



なぜうまくいったのか、うまくい
かなかったのか、原因と理由
を考えます

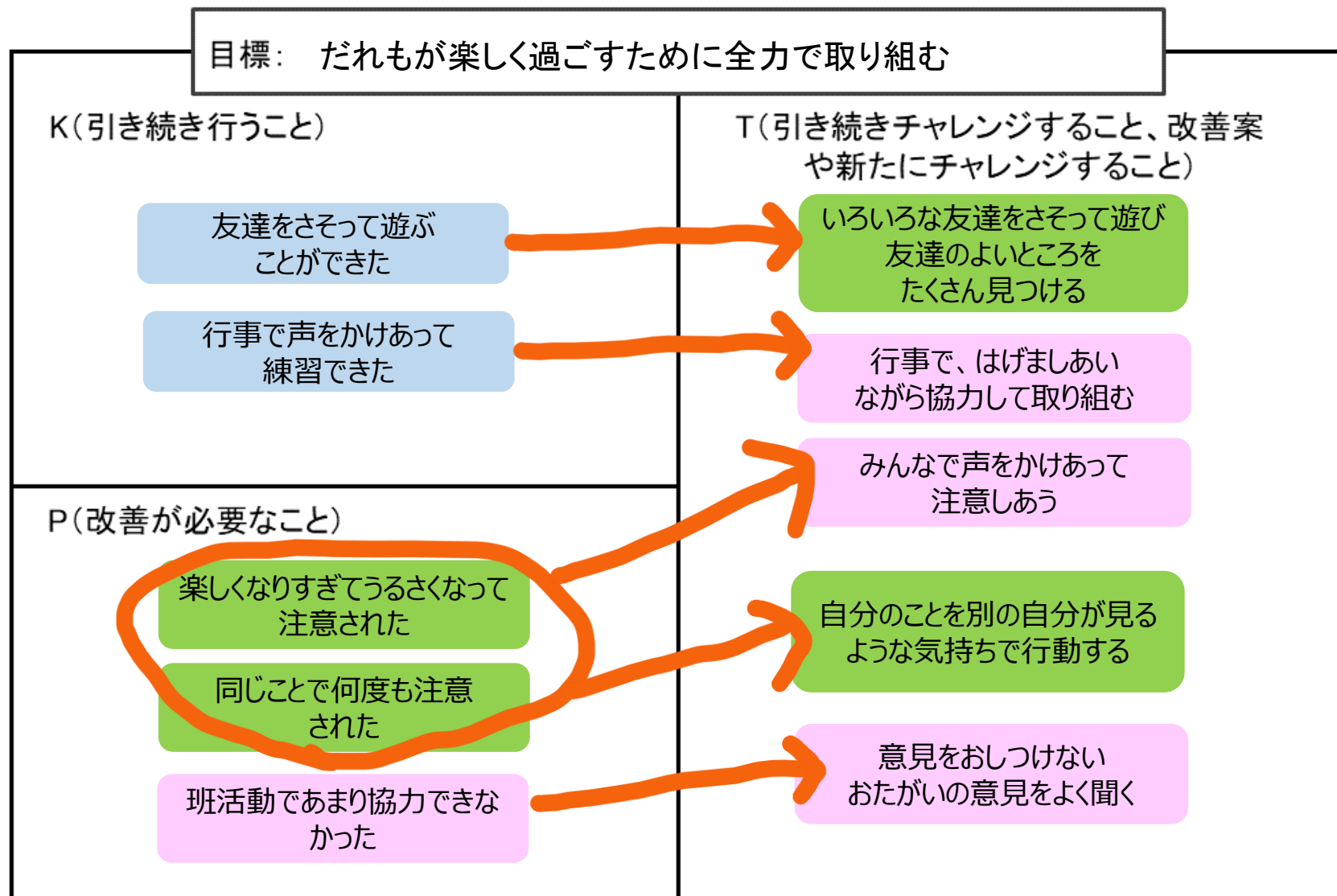
③「K：引き続き行うこと」から**引き続き何に
チャレンジするのか**や、「P：改善が必要なこ
と」から**改善案や新しい取り組みのアイデア
を出します**



改善が必要なことがたくさん
ある場合には、優先順位を
つけて考えます

新たにチャレンジするこ
とは、実践できる具体
的な対策を考えます

入力例



Pのどの項目がTと関係するのを描画ツールを使って丸で囲ったり線で表すと伝わりやすくなります。
「個人の行動として気をつけること」「友達との関係で気をつけること」などで色分けすると、より実践的に考えることができます。